

第7回慧ひろば

2025年6月28日（土）、オンライン形式にて「第7回慧ひろば」を開催いたしました。登壇者・スタッフを含め78名の方々にご参加いただき、無事に会を終えることができました。ご発表・ご参加いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

また、質疑応答では多くのご質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。時間の都合上、すべてのご質問にお答えできなかったことをお詫び申し上げます。

学生発表部門は1件のみとなりましたが、内容はこれまでの慧ひろばと同様に質が高く、投動作の運動学習についてバイオメカニクスの観点から迫る、大変興味深いものでした。興味深い結果が多く含まれており、今後の研究の発展が楽しみです。

また今回は新たな試みとして、若手研究者によるシンポジウム「スポーツバイオメカニクスから考える投動作の正確性」を開催いたしました。4名の研究者より話題提供をいただき、予定時間を15分超過するほど内容の濃い会となりました。各発表は非常に深く、集中力が求められる2時間ではありましたが、それに見合う高い満足度を得られるシンポジウムとなりました。

次年度も、研究発表や情報交換の場として「慧ひろば」をぜひご活用ください。今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



運動学習における目標位置と到達位置の誤差の二次元ダイナミクス

松田凌汰¹⁾ 馬越惇¹⁾ 木村新¹⁾²⁾

法政大学大学院 スポーツ健康学研究科¹⁾

法政大学 スポーツ健康学部²⁾



シンポジウム『スポーツバイオメカニクスから考える投動作の正確性』



シンポジウム総合討論における各シンポジスト・司会の発言中の様子